

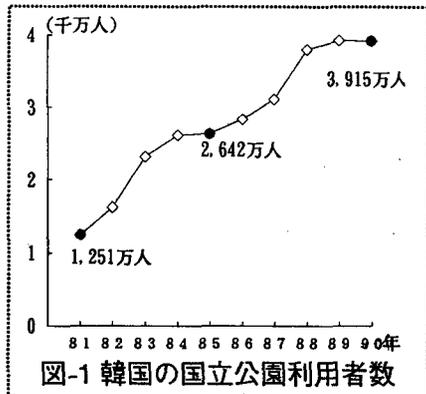
韓国の智異山国立公園の景観特性と利用動向

○古谷勝則 (千葉大学大学院) 衰 重南 (千葉大学大学院)
 油井正昭 (千葉大学園芸学部)

景観特性、利用動向、国立公園、大韓民国、野外レクリエーション

1. はじめに

韓国では、1968年以来驚異的な経済成長を成し遂げた。こうした経済成長が国民生活にゆとりをもたらし、野外レクリエーションに対する需要を増大させてきた。野外レクリエーション活動の中で、韓国人の最も好む活動は、ピクニック、野営、登山などであり、野外レクリエーションに対する需要の約60%を占めており、名勝地や自然景観などを楽しむ活動が約21%を占めている¹⁾。これらの野外レクリエーション活動の主な対象となる山岳地域は、自然公園として指定整備され、利用されている。



1.1 韓国の国立公園

韓国では、1967年12月に最初の国立公園が指定されて以来、現在までに、20箇所が指定されている。国立公園の陸域面積は、韓国全国土の3.8%を占め、1箇所あたり平均189km²である。国立公園の利用者数は、1981年の1,251万人から、10年後の1990年には3,915万人になり、約3.13倍に増加している。(図-1)

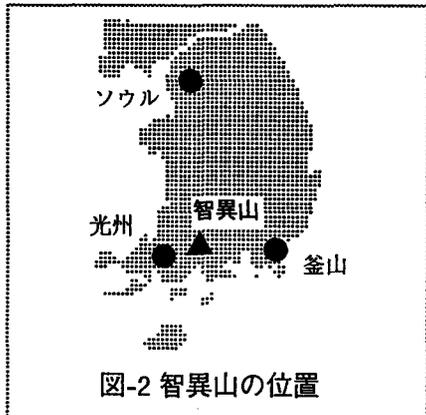


図-2 智異山の位置

1.2 研究の目的

韓国は地理的条件からいえば、狭い国土、高い人口密度、高度に発達した産業社会など日本と多くの共通点を持っている。また、自然公園制度が地域制でありながら入場料を徴収している。韓国の国立公園の現状を把握することは、日本の自然公園制度にとっても重要である。そこで、韓国で最初に国立公園に指定された智異山国立公園 (以下、智異山と記す) を対象にして、景観特性と利用動向を明らかにした。(図-2)

1.3 研究の方法

研究は、現地調査、ヒアリング調査、文献調査からなる。智異山の現地調査は、湖南大学の呉先生の案内で、保護管理の現状と利用施設の整備状況の概略を調査した。ヒアリング調査は、韓国国立公園管理公団と智異山南部管理事務所、老姑壇山荘を訪問し、自然保護のための利用規制、土地所有の問題、管理事務所の運営について話を聞いた。あわせて、文献調査も行った。(表-1)

表-1 調査の概要

| 現地調査 | |
|------------|----------|
| 1992年8月27日 | 華巖寺集団施設 |
| 同年8月28日 | 老姑壇野営場 |
| ヒアリング調査 | |
| 同年8月27日 | 南部管理事務所 |
| 同年8月28日 | 老姑壇山荘 |
| 同年9月6日 | 国立公園管理公団 |
| 文献調査 | |
| 同年8月25日 | ソウル市立大学 |

2. 対象地の概要

智異山は、ソウルから車で4時間30分、釜山からは1時間30分ほどの距離にあり、小白山脈の南端に位置する山岳国立公園である。智異山の東西方向の距離は34km、南北方向の距離は26kmである。面積は韓国の国立公園の中で、最も大きく、440km²もある。これは、韓国で唯一、「国際的な生態系均衡保全のため必要とする400km²」を越える面積である²⁾。

3. 景観特性

3.1 自然景観資源

智異山は、モンスーン気候帯に属し、年間降水量は1,215mmで、6月～8月に年間降水量の50～60%が集中し、冬には10%未満でその差が大きい。年平均気温は12度～14度である。また、湿度が高く霧が出易い気候である。

智異山の自然景観は荘厳で男性的な山岳美であり、表-2に示したように数多くの山岳と溪谷、奇岩、滝と動植物が存在し、実に壮観である。特に、雲霧の景色や秋の紅葉、冬の雪景などが、有名であり、老姑雲海、般若落照、天王日出、七仙溪谷などの智異山十景は智異山の代表的な自然景観である³⁾。(表-3)

智異山は、花崗片麻岩と花崗岩からなる地帯であり、海拔1,500m以上の峰が10箇所あり、海拔1,000m以上の峰も20ヶ所ある。智異山の主要な登山道は、東西の主稜線で老姑壇(1,507m)→般若峰(1,728m)→天王峰(1,915m)のコースであり、徒歩で3泊4日の行程である。

植物分布は朝鮮半島の南部の特徴を示し、主稜線を中心に南部は海洋性気候、北部は大洋性気候である。このため、主稜線の南面と北面で植生帯が異なる。木本植物は245種、草本植物は824種が分布する。動物は哺乳類が15科41種、鳥類39科165種、昆虫類215種などの、合計421種が棲息している。これらの内、11種の動植物が天然記念物として指定されている。

3.2 人文景観資源

人文景観としては、新羅時代に創建された大源寺(548年)、華巖寺(554年)、燕谷寺(804年)、実相寺(824年)などの7寺、9庵がある。また、国宝としては、華巖寺の4獅子3層石塔などの7箇所指定されている。宝物としては、華巖寺東・西5層石塔などの25箇所があげられ、これら数多くの文化財が、人文景観美を形成し、周囲の自然景観と調和している。(表-4)

3.3 土地所有と地種区分

智異山には、上記のような素晴らしい自然景観、人文景

表-2 智異山の自然景観資源

| 区分 | 数 | 内容(例) |
|----|----|--|
| 山峰 | 12 | 天王峰(1,915m) 般若峰(1,728m) 老姑壇(1,507m) |
| 奇岩 | 14 | 河東岩 Mang岩 Sei岩 |
| 溪谷 | 6 | 九龍、七仙、 Baemsagol、 Piagol、Hansin、 Simwon |
| 滝 | 10 | 九龍、七仙、 佛日 |
| 動物 | 10 | カワウソ、 ツキノワグマ、 ジャコウシカ |
| 植物 | 1 | Pruns pendula for. ascendens Ohwi.. |

表-3 智異山十景

| 名前 | 景色の内容 |
|----------|-------|
| 老姑雲海 | 雲海 |
| Piagol丹楓 | 紅葉 |
| 般若落照 | 夕焼け |
| 蟾津清流 | 清流 |
| 碧宵明月 | 満月 |
| 細岩つつじ | 山とつつじ |
| 佛日縵布 | 溪谷と滝 |
| 七仙溪谷 | 7つの滝 |
| 烟霞仙境 | 山麓 |
| 天王日出 | 日の出 |

表-4 智異山の人文景観資源

| 区分 | 数 | 内容(例) |
|----|----|-----------------------------|
| 国宝 | 7 | 華巖寺水浮屠 華巖寺覚皇殿 4獅子3層石塔 |
| 宝物 | 25 | 実相寺浮屠 実相寺石塔 |
| 史跡 | 1 | 実相寺 |

観が存在し、これらの景観を保護、利用していく必要がある。国立公園の土地所有を見ると、表-5に示したように国有地が全体の約50%しかない。一方、私有地が約36%、寺有地^{*)}が約14%を占めており、私有地と寺有地の面積合計が221km²となっている。韓国では、これらの土地を、有効に保護、利用するために、地種区分を設定し、規制を加えている。最も厳しい規制を加えている自然保存地区は、面積で23km²と、全体の5.4%を占めている。この地区では、学術研究や自然保護施設など、最小限の公園施設の設置しか認められておらず、公園内で最も厳しい規制が行われている。(表-6)

4. 利用動向

4.1 利用者数

智異山の利用者数は、1981年の75万人から1990年の274万人に増加しており、この十年間で利用者数が約3.65倍に増加している。(図-3)

季節別には、夏期の7,8月に、利用者の約50%が集中し、登山やピクニック、野営などを行っている。春期と秋期には、華巖寺、燕谷寺などの文化財を觀賞したり、新緑や紅葉の自然景観を觀賞する利用が多い。

智異山を利用する目的を示したのが表-7である⁴⁾。表を見ると、山頂征服が34.1%、登山目的が32.6%であり、両者を合計すると66.7%と大変高い値を示している。また、森林の中や溪流で、休憩や景観觀賞を行うは、合計24.8%である。

4.2 利用施設

智異山では、集団施設地区が、大源寺、華巖寺、燕谷寺、中山里などの8箇所を整備されており、公園利用の拠点として活用されている。また、野営場は13箇所開設されている。駐車場は9箇所、70,540m²整備されているが、最盛期には駐車場が足りなくなり、交通混雑を引き起こす。(表-8)

表-9に、利用者が公園に必要と考える施設を列挙した。公園利用者が最も必要と感じる施設は、マイルストーン41%であり、以下、公衆便所36%、解説板31.5%、野営場20.8%の順であった⁴⁾。最も必要と考えられているマイルストーンは、里程表、距離案内板のことであり、3番目に解説板があげられていることと併せて、案内板、解説板などへの要求が高いようである。また、21%の利用者が野営場施設の必要を感じており、やはり、野営場の整備が必要と思われる。

表-5 智異山の土地所有

| 所有別 | 面積km ² | 構成比% |
|-----|-------------------|-------|
| 国有地 | 219.3 | 50 |
| 公有地 | 0.2 | 0.1 |
| 私有地 | 157.5 | 35.7 |
| 寺有地 | 63.5 | 14.4 |
| 計 | 440.5 | 100.0 |

表-6 智異山の地種区分

| 地種区分 | 面積km ² | 構成比% |
|--------|-------------------|-------|
| 自然保存地区 | 23.8 | 5.4 |
| 自然環境地区 | 413.0 | 93.8 |
| 集落地区 | 2.4 | 0.5 |
| 集団施設地区 | 1.3 | 0.3 |
| 計 | 440.5 | 100.0 |

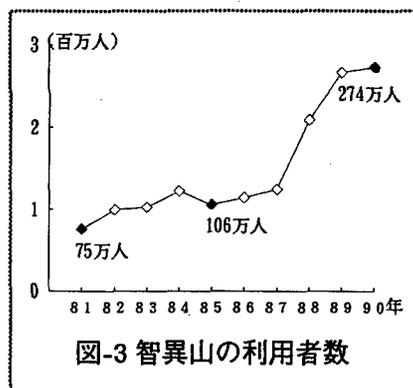


表-7 智異山の利用目的⁴⁾

| 利用目的 | 構成比% |
|------|-------|
| 山頂征服 | 34.1 |
| 登山 | 32.6 |
| 森林浴 | 16.2 |
| 眺望 | 8.7 |
| 溪流散策 | 8.6 |
| 計 | 100.0 |

5. 保護管理

近年の利用者の急激な増加により、登山道の浸食や、周辺植生の破壊が頻発している。そこで、自然環境を保全するために、「自然休息年制」を1991年より開始した。この制度は、登山道を3年間閉鎖するものであり、現在、14箇所の国立公園で、30路線の登山道が閉鎖されている。智異山では、老姑壇山荘から老姑壇山頂までの3.7kmと、老姑壇山荘からSimwonまでの4.0kmなど、総計で34.7kmの登山道が、閉鎖されている。閉鎖区域では、登山道の、出入り口に、フェンスを建て、人間の立ち入りを禁止している。また、閉鎖区域内では、研究者による、植生復元のための実験も行われている。この様に、大変積極的な自然植生回復への取り組みが見られた。この他に「山火事予防制」があり、これは、火事が起こり易い春（3月1日から5月31日まで）と秋（11月15日から12月15日まで）に、一部の登山道を限定閉鎖する制度である。

老姑壇山荘のヒアリング調査では、公衆便所のし尿処理が、緊急の課題としてあげられた。日本でも、同様な問題が発生しており、いまだ、根本的解決策が、見い出されていない。

6. おわりに

韓国で最初に指定された智異山国立公園の景観特性と利用動向の概略を、現地調査、ヒアリング調査、文献調査より明らかにした。韓国では、自然公園の登山利用やピクニック、野営の利用が盛んであり、近年の利用者の増加に対応できていないのが、現状であり、施設の充実が必要である。また、「自然休養年制」などの強力な利用規制も、韓国国立公園における保護管理の一面である。

参考・引用文献

- 1) 国土開発研究院(1989)：自然公園の機能定立と管理合理化法案,国土開発研究院,p164
- 2) 呉求均(1991)：智異山国立公園の管理改善策,応用生態学,p120
- 3) 智異山南部管理事務所(1992)：事業現況,p9
- 4) Jo Jane Chang(1991)：智異山利用行態及び認識に関する研究,応用生態学,p106～p107
- 5) 韓国建設部(1987)：智異山国立公園計画,pp189

備考

- *1 寺有地：韓国の場合は、大韓仏教曹溪宗で管理しているため個人の私有地とその性格が異なる。

表-8 智異山の施設

| 施設名 | 箇所数 | 備考(例) |
|------------|-----|---------------------|
| 野営場 | 13 | 70540m ² |
| 駐車場 | 9 | |
| 公衆便所 | 65 | 老姑壇 泉隠寺 |
| 避難小屋 | 8 | |
| 休憩所 | 2 | 華巖寺 |
| 展望台 | 1 | |
| 入場券 販売所 | 7 | 南,北,東 |
| 管理事務所 | 3 | |
| 商業施設 | 6 | |

表-9 智異山で利用者の必要とする施設4)

| 必要な施設 | 構成比% |
|-------------|-------------|
| マイルストーン | 41.1 |
| 公衆便所 | 36.4 |
| 解説板 | 31.5 |
| 野営場 | 20.8 |
| 充分である 道路 | 14.2 5.3 |

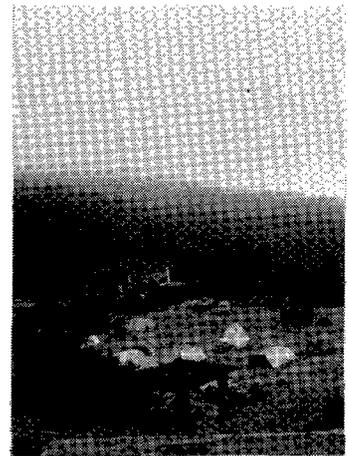


写真-1 老姑壇野営場